

〇〇科学習指導案（例）

単元名「

」

〇〇年〇月〇日（〇）第〇校時 〇〇教室

〇年〇組 指導者 〇〇 〇〇

I 単元構想

1 考察

（1）身に付けさせたい資質・能力及び児童生徒の実態（男子〇名、女子〇名、計〇名）

	身に付けさせたい資質・能力	児童生徒の実態
知識・技能		
思考力・判断力・表現力		
主体的に学習に取り組む態度		

（2）学習内容：学習指導要領上の位置付け

2 目標

各学校の実情に合わせて「校内研修との関わり」等を加えることも考えられる。

3 単元計画（全〇時間計画、□は本時）

過程	時間	主な学習活動	評価の観点		
			知	思	態
つかむ	1	単元の課題を設定する（※教科により異なる） <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">課題</div>			○
	<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; background-color: yellow; padding: 5px; display: inline-block;">令和2年度の中学校は、現行の4観点で評価する。</div>				
追究する	2		○		
	3			○	
	4		○		
<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; background-color: yellow; padding: 5px; display: inline-block;">過程の文言は各教科により異なる。（はばプラⅡ参照）</div>				○	
まとめる	7		○		
	<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; background-color: yellow; padding: 5px; display: inline-block;">児童生徒の言葉で記述する。</div>				
	8	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">単元末に表れてほしい児童生徒の姿を示す</div>		○	

II 本時の学習 (○/○)

1 ねらい ※身に付けさせたい資質・能力をもとに設定する。

2 展開

主な学習活動 ☆児童生徒の意識	指導上の留意点及び 支援・評価	時間
<p>1 めあてを明確に捉え、学習の見通しをもつ。</p> <p>☆ええ、なんでだろう。 ☆今日は、○○について学習するんだな。 ☆調べてみたいな。 ☆この方法が使えるそうだ。</p> <p>〈めあて〉 ※ねらいをもとに設定す</p>	<p>※児童生徒から○○のような 気づきや○○に関する疑問 を引き出し、既習事項を振 解決すること「なぜ、～か(だろう)」 「どのように～か」など 解決の方法「～をして」「～を通して」 「～を用いて」など 活動・テーマ(文末を)「～しよう。」 などのように記述する。</p>	5
<p>2 本時の課題について個別で考え、ワークシ ートに記述する。</p> <p>☆こうすればできるんじゃない ☆○○が答えだな。 ☆理由は○○だ。</p> <p>3 考えたことを共有し、考え</p> <p>☆○○になるんだな。 ☆△△になる場合もあるんだ。 ☆でも、僕の考えは○○だ。△△という考えもある んだ。 ☆A君と考え方は同じだけど、理由が違うな。 ☆△△という理由もあるんだ。 ☆みんなの考え</p>	<p>指導上の留意 点及び支援の 充実 「促す」 「提示する」 「想起する」 「比較する」 「問いかける」 「称賛する」等</p> <p>※△△について気付けるよう ○○について問いかける。 ※△△についての考えを深め られるよう、○○について考 えている児童生徒を意図的に 指名する。 ※全員で検討できるよう、○ ○についての賛否を他の児童 生徒に問いかける。 (広げる・つなげる・深める)</p> <p>【評価項目】 思 ～について○○を考え、表 現している。 (発言、プリントの記述)</p>	30 (35)
<p>4 本時のま ☆○○は△△た</p>	<p>何を学んだか 「わかったこと」「気付いたこと」「できるように なったこと」「まだ、わからないこと」など どのように学んだか 「どのように解決したか」 「どうしたらできたのか」など</p>	
<p>5 めあてに 〈振り返りの姿〉 ☆△△だから、○○ということがわかった。(できるようになった。)</p>	<p>※児童生徒の言葉で記述する。</p>	
<p>6 次時の予告をする。</p>	<p>(例) ・めあて、まとめが示されている ・児童生徒の思考の跡が残っている ・つながりや関係性が見える ・児童生徒の考えに対する評価が示されている ・思考や発想のヒントになる等</p>	

※指導事例(道徳科、学級活動含む)は、吾妻教育事務所Webページに掲載しています。